

効果的な介護サービス提供のための 福祉用具の特徴

日本理学療法士協会会長
半田一登

福祉用具

高齢者や障害のある人が日常生活の様々なことから、可能な限り自分で出来るように支援するための用具のことです。

福祉用具を利用することで、高齢者や障害のある人の自立した生活の範囲が広がり、介護にあたる家族や介護者の負担を軽くすることができます。



福祉用具は持続性のある自立生活に貢献します。

福祉用具の役割

人的支援

障害

物的支援

介護

福祉用具

高齢者・障がい者の自立生活

福祉用具の種類

<歩行支援用具>

- ・車いす、杖、松葉杖、歩行車、歩行器

<移乗用具>

- ・リフト、トランスファーボード

<生活支援用具>

- ・食事関連用品、排せつ関連用品、入浴関連用品、
整容関連用品、更衣関連用品、視聴覚機器、
コミュニケーション機器

<見守り支援>

- ・見守りロボット、見守りセンサー、見守り機器

<福祉車両>

福祉用具（歩行支援用具）

松葉杖の高さの決め方

- 杖の先端をつま先から横に30cm、そこから前に30cmの位置に合わせ、脇の下に握りこぶし1つ分の隙間を空けて高さを調節します。
- 体の縦の線と曲げた腕の角度が30度になるように、グリップの位置を決めます。



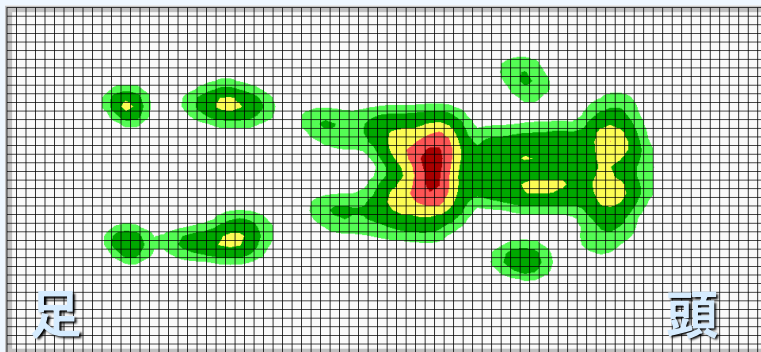
福祉用具(介護用電動ベッド)

ベッドの機能と高さ

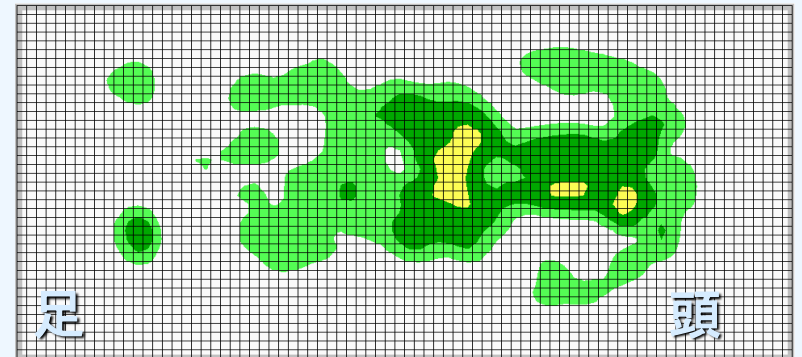


超低床ベッド

ポジショニングと圧の変化

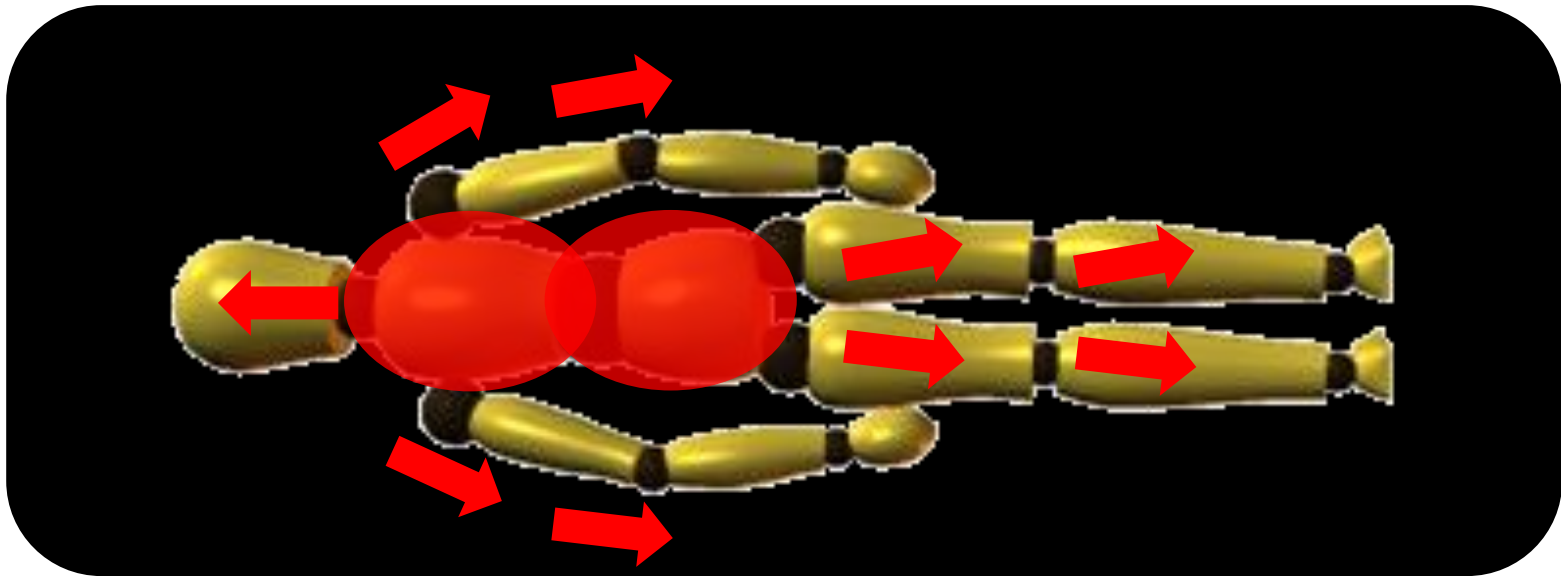


ピローなし



ピローあり

ポジショニングの手順と考え方



1. 体幹（肩甲帯、骨盤帯）の安定性を図る
2. 頭部・上肢・下肢へと末梢への安定を図る
3. 崩れる要素を支える
4. 自由度を確認する（動けるところは動けるように）
5. 継続して皮膚の状況を確認する

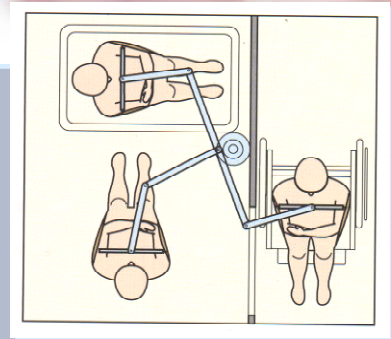
福祉用具(入浴用リフト)



天井走行式リフト



設置式リフト



設置式リフト

リフトと浴室の広さ・浴槽の大きさとの整合性

福祉用具（昇降座椅子）

床面での活用頻度



ライズターン

福祉用具（電動車いす）



JWアクティブ



Will ModelA



モーターチェア



セニアカー

障害や生活困難に応じた多様な種類からの選択

福祉用具(車いす)



標準型



ティルト+リクライニング型

体格・能力・役割に応じた選択

姿勢の崩れと身体機能の向上



悪い姿勢



身体機能の維持
身体機能の向上
意識の向上
活動性の向上

良い姿勢



車いすの採型箇所

福祉用具(手すり)

転倒危険箇所に設置



段差用

据え置き型



床天井支持型



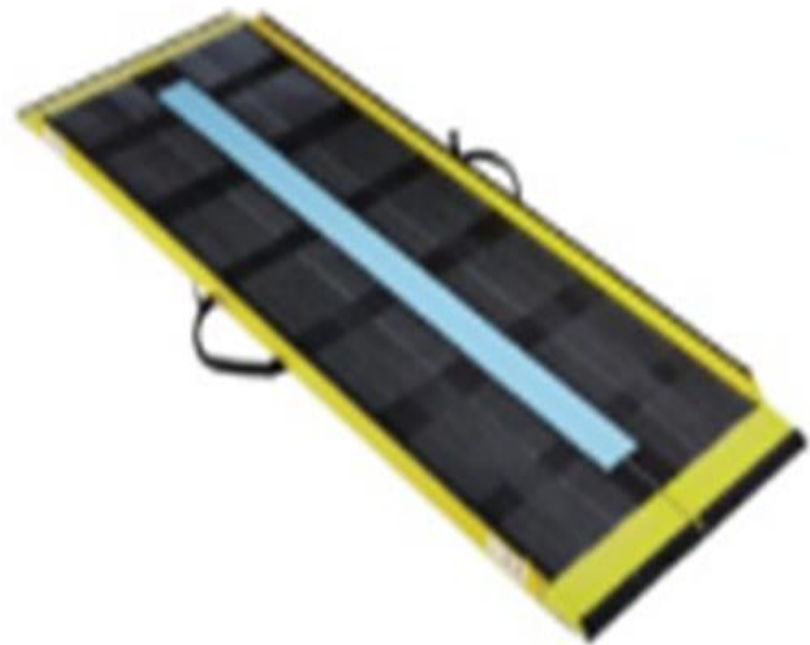
トイレ設置型

福祉用具（段差昇降）

正常な方との共存



段差解消機



簡易スロープ



福祉用具（入浴支援用具）





福祉用具(シャワーチェア)

安全性と清潔性



座面のみ

背もたれ付き

座面回転

その他

福祉用具(ポータブルトイレ)

自立可能性と尊厳



ウォシュレット付



移乗性



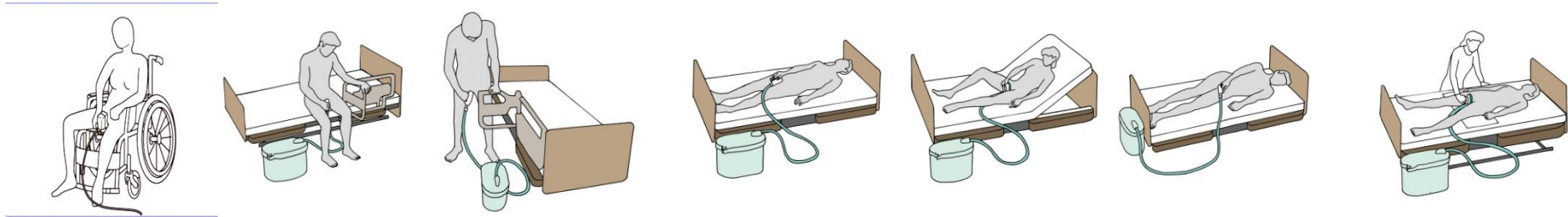
移動性

福祉用具（自動採尿機）



手動吸引スイッチ

特徴；尿を感知し自動で吸引する



福祉用具（移乗用リフター）



使用頻度と手間

福祉用具（生活用具）

食事の自立が自立生活の基本



福祉用具（生活用具）



福祉用具（生活用具）



福祉用具（生活用具）



福祉用具（生活用具）



ロボット新戦略（ロボット革命実現会議）

～ 介護・医療分野から抜粋 ～

- ◆基本的考え方 介護は人の手により提供されるといった基本概念を維持しつつロボット介護 機器の活用による業務の効率化・省人力化へとパラダイムシフトを支援し、開発の場面においては、介護現場のニーズに即した実用性の高い機器が開発されるよう、具体的な現場ニーズを特定したうえで、研究開発支援や開発の段階に応じた介護現場と開発現場のマッチング支援を実施する。

高齢者等の見守りや認知症等の重症化予防を支援するため、センサー技術や人工知能を備えたロボットの導入促進のための取組を進める。

福祉用具（移動支援型ロボット）



RT.1・RT.2

センシング技術で道の傾斜を検知し、それにあわせて速度を調整、片流れ防止を自動で行うロボットアシストウォーカーです。



Flatia

3つのセンサーにより、道の傾斜に合わせて自動でアシスト・ブレーキが働くだけでなく、体が離れたり、手が離れたりしても自動でブレーキが働きます。

脳血管疾患と福祉用具

正常

発症

片麻痺等障害

福祉用具

リハビリテーション

脳血管疾患モデル

老化と福祉用具

正 常

老 化

リハビリテーション

多様な障害

福祉用具

高齢者モデル

まとめ（福祉用具の活用）

1. 障害や生活困難には多様性があり、様々な機能をもった各種福祉用具を整備することが大切です。
2. 生活困難を軽減できる最適な福祉用具を適合させるためには、障害や生活困難と福祉用具の双方を理解し、具体化できる人材が必要です。
3. 福祉用具の中には高価なものも含まれており、国家的な判りやすい仕組み作りが必要です。その中でレンタル制度は利用者にとって非常に有効な制度です。